

試験の記述問題などで次の問を目にしたことが何度かある。

「空き時間は一つのこと集中するか、もしくは様々な活動にバランスよく費やすか、どちらが良いと考えますか。」

僕はいつもこう答える。

「たくさんのことを体験したいのでいろいろなことに浅く広く挑戦する。」

もちろんこれは、何か一つを突き詰めている人たちが悪いと言っているわけではない。多くの経験をしたというのは、以前の経験がそれからの人生の中で役に立つ瞬間あると考えているからだ。僕が考えている役に立つ瞬間というのは、主に職に就くときである。人生において働くことはほとんどの人間にとって必須である。必然的に誰もが「やるなら好きなことを仕事にしたい」と考えるだろうし、実際にこの文言はよく目にする。

では、好きなことを仕事にするというのはどういうことだろうか。

読書の好きな友人がいる。彼女は大好きな本に囲まれて仕事ができると言い、高校生になってすぐに本屋でアルバイトを始めた。しかしこれは実際に彼女のやりたかった仕事ではなかった。なぜなら彼女が好きなのは読書で、本の陳列や客の相手ではないからだ。

もう一つ例を挙げてみる。僕はウェブ開発の仕事をしたことがある。その仕事はとても楽しく、いい経験ができたと思っている。しかし、あれを生涯通して続けるかというそれは違った。なぜなら僕が好きなのは自分の思い描いたものを創ることで、企業の一員として上からの指示通りに作業をすることではないからだ。好きなことと一概にいつてもいざそれを仕事にしたときに本当の意味で好きなことを仕事にしたとは言えないのである。

このように、好きなことを仕事にするというのはなかなかハードルが高い。このハードルを将来超えるために僕は自分の中の好きなことを増やしたいと考えている。最初の問に戻るが、たくさん挑戦して培った経験をいつか仕事という形で活かせれば、それはとても楽しいなど思うのである。